

# 令和元年度 租税教育実践発表会資料



石巻市立中里小学校  
教諭 若生 仁美

## 1 はじめに

私たちは、警察、消防、教育、社会保障など、様々な公共施設・公共設備、公共サービスの恩恵を受けて暮らしている。これらは全て、税金によって賄われており、社会を支えるために国民が負担し合っているものである。しかし、我が国の厳しい財政状況や少子・高齢化は、今後の税制に大きな影響を及ぼすことが懸念され、課題となっている。

そこで、将来を担う子どもたちが、税金の意義や役割、必要性などを考える機会をもつことは極めて重要なことであり、ひいては租税教育のねらいでもある健全な納税者意識（租税は民主国家の礎であり、この租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を支払い、その使い道を監視する、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚）を涵養することが大切であると考えた。

6年生では、社会科で税金について学習するが、そこでは政治の働きと税金の使われ方について調べ、租税の役割についてそれぞれ理解できるようにすることがねらいである。今回、それに先立ち、まず税金について正しい理解と認識を深めさせたいと考えた。

## 2 児童の実態

本学級の在籍児童は、男子8名、女子12名、計20名である。明るく素直な児童が多く、男女仲良く協力し合いながら生活している。

児童に、「税金」に関する事前アンケート調査を実施した。結果は、以下の通りである。

### (1) 事前アンケート(令和元年6月10日実施、対象：石巻市立中里小学校 6年1組20名)

#### 1 「税金」という言葉を聞いたことがありますか？

ある・・・19人      ない・・・1人

#### 2 1の質問で、「ある」と答えた人へ質問です。「税金」の意味を知っていますか？

知っている・・・9人      知らない・・・10人

#### 3 2の質問で「知っている」と答えた人へ質問です。税金は何に(どんなことに)使われていますか？具体的に書きましょう。

国でつくったものに使われる      国道や県道などの道や公立の学校などの建設費  
給料から国に納めるお金のこと      自分たちの地域のために使われている  
学校の水道2人      学校で使う教科書2人      定価の値段にプラス何円か入ること2人

#### 4 税金について疑問に思うことや分からないこと、聞いてみたいことがあったら書きましょう。

税金は、どういうお金ですか？      税金は、何に使われていますか？  
なぜ税金はあるんですか？全国で税金を集めると何千万円になるのか教えてください？      税金で、何をしていますか？      税金は、いくらぐらいあるんですか？  
税金はなぜ払わないといけないのですか？      消費税以外に何がありますか？  
税金は、何円払わなければいけませんか？

### (2) 考察

- ・「税金」という言葉は、ほとんどの児童が聞いたことがあると答えた。テレビやニュースなど日常生活で聞いたことがあると考えられる。
- ・税金がどのような役割をもち、どのように使われているのかについて「知らない」と答えた児童が10名いた。税金についての基礎的な知識については認知度が低いことが分かった。
- ・知っている税金については、地域のためや国でつくったもの、学校で使われている物等に使われているが挙げられた。しかし、公共サービスなど暮らしそのものに税金が使われていることなど、その役割や内容を知っているわけではないことがうかがえた。

### 3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、以下の点を工夫して指導していくこととした。

まず、税金について疑問に思うことや分からないことを解決するために、税に関する専門家（外部講師）を招き「租税教室」を開催し、税金について理解する。

次に「租税教室」で学んだことを生かし、実際に自分たちのために使われている税金について考える。

最後に、学習のまとめとして「わたしたちの暮らしと税金」を活用して学習内容の確実な定着を図る。

### 4 指導の実際

○単元名 「わたしたちの生活と政治」

○単元のねらい

- ・税金の役割や用途について興味・関心をもつ。
- ・税金はわたしたちの生活にとって不可欠なものであることを理解する。

#### (1) 指導計画（3時間扱い）

小単元名	時間	主な学習活動	関連単元
事前アンケート実施	短学活	○税金についての認識度の確認	
1 税金ってなんだ 気付く	1	○「租税教室」で、税金は私たちの生活に欠かせないもので、身近なことに使われていることに気付き、税金について理解する。	社会 「わたしたちの生活と政治」
2 税金が使われている物を考えよう 考える	1	○身近な公共施設・公共設備、公共サービスについて考え、それらは税金によって賄われていることを理解する。	社会 「わたしたちの生活と政治」
3 税金について振り返る 深める	1	○「わたしたちの暮らしと税金」を活用して学習内容の確実な定着を図る。	社会 「わたしたちの生活と政治」

#### (2) 実践内容と児童の様子

気付く	1 税金ってなんだ（1/3）「租税教室」 令和元年6月17日実施
講師：公益社団法人石巻法人会青年部会 副部長 高橋政則様 他2名 学習のねらい：税金の必要性和意義、仕組みについて理解する。	
主な学習活動	主な発問・説明（○） 児童の反応（・）
1 税金の種類について知る。	○税金には、どんな種類があるか知っていますか。 ・50種類もあるんだ。
2 税金がどうやって納められているかを知る。	○税金は誰がどこに納めているか分かりますか。 ・税務署に納められて、国のお金となるんだ。 ・また自分たちに戻ってくるんだ。
3 税が何に使われているのかを知る。	○税がどのように役立っているか知っていますか？ ・学校で使っている教科書や机、校舎に使われている。 ・警察や消防署、救急車に使われている。
4 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する。	

「租税教室」を実施し、法人会の方からお話を伺いながら、税金についての学習を行った。税金は誰が納め、どのように集められるかということについて理解が深まった。また、小学生一人あたり年間約86万円かかるという話や、1億円の重さを体験させてもらうことによって、税金に対する興味・関心が一層高まった。児童の質問にも直接答えていただくことができ、有意義な活動となった。

## 考える

### 2 税金が使われている物を考えよう (2/3)

学習のねらい：身近な公共施設・公共設備、公共サービスについて考え、それらは税金によって賄われていることを理解する。

主な学習活動	主な発問・説明 (○) 児童の反応 (・)
1 学校の中にある税金で買っているものについて考え、話し合う。	○学校の中で、税金で買っているものにはどんなものがあるか考えてみよう。 ・教科書 ・黒板 ・掃除道具 ・机や椅子
2 学校探検をする。	○税金で買われているものとそうでないものを探して学校探検をしよう。 ・ほとんどの物が税金で買われた物だ。 ・寄付や寄贈の物は税金で買った物ではない。 ・先生方の私物は税金で買った物ではない。

学校は税金で建てられていることが分かったので、校舎内外の物にも税金が使われていることを知らせると、次々と児童は考えられる物を挙げていた。はじめにクイズでおおまかなものを確認した後、税金で買った物を探す学校探検を行った。税金で買った物を探す児童、どちらか不明な物を探す児童など、それぞれが自分の興味・関心にしながら楽しみながら活動することができた。不明なものに関しては、みんなで意見を交換しながら考えることができた。

## 深める

### 3 税金について振り返る (3/3)

学習のねらい：税金について学んだことを整理し、仕組みや意義について振り返る。

主な学習活動	主な発問・説明 (○) 児童の反応 (・)
1 税金クイズに挑戦する。	○「わたしたちの暮らしと税金」の税金クイズに挑戦する。 ・簡単。分かるよ。 ・どうだったかな。
2 税金で何だろう？	○税金について知っていることをワークシートに書いてみましょう。 ・税金がないと困る。 ・税金は、みんなのために使われている。
3 税金が何に使われているか探してみよう。	○消費税の仕組みや税金の使われ方についてクイズに挑戦する。 ・税金が使われている場所がたくさんあるな。
4 国や宮城県の予算を見てみよう。	○国や宮城県の税金の予算を見て、感想を発表しましょう。 ・すごい金額の予算だな。 ・身近なことに使ってほしいな。
5 学習のまとめ。	○学習を終えた感想をワークシートに書く。

「わたしたちの暮らしと税金」は、税金についての○×クイズやキーワードとなる言葉を穴埋めする欄があり、児童が楽しみながら税を学ぶことができる資料であった。学習のまとめとして活用できた。

## 5 事後アンケート

(令和元年6月17日「租税教室後」実施, 対象: 石巻市立中里小学校 6年1組20名)

### 1 税金は必要だと思いますか?

はい・・・20人      いいえ・・・0人      分からない・・・0人

### 2 今日の授業はどうでしたか?

よく分かった・・・18人      少し分かった・・・2人

### 3 税金を何に使ってほしいですか?

国や県や市などみんなの役立つ物に使ってほしい(8名)。球場やスポーツをするための施設を建てるために使ってほしい(3名)。学校や公園に使ってほしい(3名)。お年寄りのための介護や老人ホーム(2名)。年金に使ってほしい。捨てられた犬や猫に使ってほしい。

## 税金についての学習を終えての感想

### 学習を終えて

税の学習を通して分かったこと、気づいたこと、考えたことを書いてみましょう。

税金というのは私にとって必要なものだなあと思いました。税金がないとみんながくらしにくくなってしまうということも分かりました。これから10%に税金がかかります。その税金で病院を増やしたほうがいいなあと思いました。みんなのためになるものに使ってもらってほしいと思いました。

### 学習を終えて

税の学習を通して分かったこと、気づいたこと、考えたことを書いてみましょう。

税金は、私たちにとって大切なものだなあと思いました。10月1日から消費税10%にあがったら、年金や教育のために使ってほしいと思います。私たちは、税金があるおかげで、豊かにくらせているんだなあと思いました。

### 学習を終えて

税の学習を通して分かったこと、気づいたこと、考えたことを書いてみましょう。

今までは、税金があると高くなっていやだと思っていただけ。税金の使い道を知ったら自分たちがはらっている税金が人助けしているんだと思えるようになりました。税金が10%になったらおは"あちゃん達の年金などいろいろなことに使ってほしいです。

## 6 成果と課題

### 【成 果】

- 税の専門家を外部講師として招き「租税教室」を開催することは、税に対する関心や知識を高めるのに有効であった。
- 学校探検や一億円の重さ体験などの直接体験、またビデオ教材など視聴覚教材の活用を取り入れたことにより、児童の興味・関心が高まるとともに、税金についての理解が深まった。
- 学習のまとめとして「くらしと税金」を活用しながら税金について再確認していくことで、国や宮城県の予算についても学ぶことができた。
- 令和元年10月から消費税が10%に上がることもあり、これから税金をどのように使っていくてほしいか、児童自身が身近な問題として考える機会になった。

### 【課 題】

- 税金についての知識は深まったが、政治との関わりや課題に対してどう向き合っていたらよいかという考えまでには至っていないので、今後の学習や生活の中で機会をとらえて指導していく。
- 税金は普段児童には馴染みがないものなので、ともすると学習も受動的になりがちである。児童が主体的に学ぶには、税金について学ぶためのいろいろな切り口を見つけていく必要がある。